

## H 3 1 年 年始訓示

皆さん、新年明けましておめでとうございます。  
清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も、こうして、皆さんの元気な顔が見られてホッとしています。新年を迎え、気持ちを新たにして、今年も一年間ともに頑張ってみましょう。

ただ、今思えば、今日4日に、御用始めの訓示をやらなくても良かったかなあと、ちょっと反省しています。何となく、4日は、御用始めで年始訓示という考えが固定化されていました。今後は、従来の慣習に囚われることなく、合理的に考えていきたいと思えます。

新年は、年明けから、気候的にも温かい日が続き、このまま安寧な一年を送りたいものだと考えておりました。私は、女房と一緒に、元日の午前中に、村松山虚空蔵堂と大神宮を参拝しましたが、村松宿通りで「正月マルシェ」が開催されており、いくつかの店に立ち寄りしました。多くの参拝客が往来しており、村松地区の活性化に一役買っていたのではないのでしょうか？担当課の皆さんも正月早々、大変ご苦労様でした。

今年は、新天皇の即位が予定されておりますので、実務的には、改元に伴う対応も万全を期していかなければなりません。社会全体としては、祝賀ムードで景気は引き続き良好ではないかと考えています。しかしながら、10月には、消費税が10%に引き上げられることから、その影響を、しっかりと注視していかなければならないとも感じています。

また、国内のイベントとしては、ラグビーワールドカップの開催、G20の開催などが予定されており、東京オリパラの一年前ということで、明るい話題も多いのかなと思えますが、本村においても、昨年の中男子駅伝チームの活躍に見られるような村民に元気を与えられるような話題については、積極的に発信してみたいと思います。

さて、年末訓示では各課の業務について触れましたが、年頭のあいさつということで、今日は次の5点について、申し上げておきたいと思えます。

今年、いよいよ国体本番を迎えますので、秋に向けて着実に準備を進めていかなければなりません。皆さん一人ひとりが、広報マンとしてPRに努めて頂き、多くの村民の方々に参加してもらえよう機運を盛り上げていきましょう。なお、開催期間中は、多くの職員が係員として現地に配置されますが、だ

からと言って役場業務に停滞があってははいけません。それぞれの置かれた役割をしっかりと意識しながら、全員の力で国体成功を成し遂げましょう。

昨年一年間の出生数は、300人を切りました。昨年在320人ほどでしたから、これまで出生数が多いとされてきた本村も、ついに人口減少社会に突入したことは間違いありませんが、急激に進んでいる状況を直視し、今後のまちづくりを考えていかなければなりません。特に、子育て支援は、どの自治体も力を入れており、若い世代の方々へアピールできる施策が急務であります。5月に供用開始を目指す「病児・病後児保育施設」の運営は、その期待に応えられるものと感じていますが、待機児童の解消については、まだまだ厳しい状況が続くと思われますので、引き続き、関係機関と連携を図りながら対応してまいります。

そして、今年、新たな総合計画づくりに着手します。第5次総合計画の終期を待たずに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定と併せて取り組むこととしています。大変タイトなスケジュールではありますが、この変化の激しい時代を先取りし、未来に夢を描ける計画にしたいと考えています。決して理念ばかりが先行することなく、職員と住民が真剣に話し合いながら、様々な分野における目標を定める必要があります。「村が」ではなく、「村民が」主体となって実現する「協働のまちづくり」を目指していきましょう。

原子力政策においては、東海第二発電所を取り巻く状況が、いろいろと動き出すのではないかと考えています。事業者が行う安全性向上対策はもちろんのこと、我々が目指しています実効性ある広域避難計画の策定についても、住民の理解が得られるよう取り組んでいかなければなりません。課題を一つ一つ整理しながら、適切に対応してまいります。

なお、今年、JCO臨界事故から20年という節目の年となります。あの事故の教訓は引き継がれてきたものと思いますが、昨年も原子力事業所における事故やトラブルはいくつか発生しており、改めて、「安全文化の醸成」を徹底していかなければならないと強く感じているところであります。ともに気を引き締めて対処してまいります。

最後に、「(仮称)歴史と未来の交流館」整備事業ですが、今年も丁寧に進めていきたいと考えております。建設予定地の造成工事が進み、改めて、この施設の持つインパクトの大きさを痛感しています。今年、いよいよ建設工事に着手することになりますが、議会対応を含め、しっかりと説明責任を果たして

いかなければなりません。村が誇る文教地区において、この地区に相応しい施設となるよう、そして、村民の皆さんに親しんでもらえる交流館となるよう丁寧に取り組んでまいりましょう。

今申し上げたもの以外にも、各課にはいろいろな課題があると思われませんが、皆さんには、与えられた職務に全力であたっただきたいと思います。

なお、毎年申し上げていることですが、心身の健康管理は、職員一人ひとりが充分注意して頂くとともに、管理職の皆さんには、部下の様子にも細心の注意を払ってもらいたいと思います。

結びに、今年一年が、皆さんにとって良い年になりますように、そして村としてもすばらしい年になりますよう祈念いたしまして、年頭のあいさつといたします。今年も一緒に頑張りましょう。